

科目名	司法実務	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			法律 学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Practical of law	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	たかはし ゆうすけ	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中
担当者名	高橋 佑輔	修得単位	4 単位
授業のテーマ	司法手続における実務的対応を概観する		
到達目標	司法手続全般について、具体的な手続内容とその必要性を理解する。		
授業概要	司法制度全般における手続や付随する制度等を紹介する		
授業計画			
第1回	ガイダンス	第17回	刑事事件の実務1 手続全般について
第2回	紛争解決手段概観, 裁判所の機能	第18回	刑事事件の実務2 証拠と事実認定
第3回	裁判による紛争解決, 事実認定方法, 既判力等	第19回	刑事事件の実務3 当事者の役割等
第4回	裁判以外の紛争解決方法	第20回	刑事事件の実務4 裁判員裁判, 量刑傾向
第5回	家事事件の実務1 親子関係, 親権, 養育費	第21回	交通事故と損害賠償
第6回	家事事件の実務2 婚姻, 婚姻費用	第22回	医療過誤と損害賠償
第7回	家事事件の実務3 離婚, 不法行為	第23回	行政事件の実務1 行政訴訟の構造
第8回	家事事件の実務4 遺産相続, 遺留分	第24回	行政事件の実務2 行政事件における要件等
第9回	債務(借金) 整理の実務	第25回	労働事件の実務
第10回	自己破産の実務	第26回	不動産賃貸借契約の諸問題
第11回	民事再生, 会社更生の実務	第27回	消費者契約
第12回	金銭消費貸借と時効	第28回	子の虐待と司法手続
第13回	借金と担保制度	第29回	内容証明郵便の作成, 利用等
第14回	保証人の責任	第30回	合意文書の作成・利用
第15回	時効の諸問題	第31回	支払督促手続
第16回	中間試験	第32回	期末試験
授業時間外の学習	新聞報道等を注視し, 現実に発生する様々な事件における手続等を考える。		
履修条件 受講のルール	履修条件はありません。各回の配布資料は、事前の連絡なしで欠席した学生には配布しませんので、学生間でコピーする等してください。		
テキスト	なし		
参考文献・資料	小泉健「司法の実務」三恵社		
成績評価の方法	試験結果(中間50%, 期末50%)に平常点(出席状況)を加味して最終評価します。 出席回数が規定に満たない場合及び授業料等を納めていない場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	月曜日13:00~14:30・木曜日13:00~14:30		
成績評価の基準	平成28年度以降入学した学生: 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(50点以下) 平成27年度以前に入学した学生: 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(50点以下)		
学生へのメッセージ	講義を聴くだけでなく、世の中の様々な事件について手続の流れ等をイメージして積極的に講義に参加してください。		